

『神かみのからだ』

だんだんとなに事ことにてもこの世は
神かみの身体からだや思案しあんしてみよ おふでさき

わたし
私たちが暮くらしているこの世界せかいは、
人間世界にんげんせかいをお創つくりくだされた

「親神様おやがみさまのからだ」とお聞きかせいただきます。

それは親神様おやがみさまが、
私たち人間わたしにんげんが明あかるく陽気ようきに暮くらせるように
ありとあらゆる守護しゅごを下くださる親おやなる神様かみさまだからです。

太陽たいようが朝あさの光ひかりを注そそいでくれるのも、
雨あめという水みずのみ恵めぐみをくださるのも、
空気くうきの存在そんざいもすべて親神様おやがみさまのお働はたらき。

目めが見みえる、耳みみが聞きこえる、しゃべれる、
食しょくじ事じをしておいしいと感かんじるなど、
自分じぶんの身体からだが結構けっこうに動うごくのも、
すべては親神様おやがみさまのお働はたらきによるものです。

この世界せかいは「親神様おやがみさまのからだ」。
子供こどもが親おやの懷ふところにすっぽりと抱だきかかえられて

安心あんしんするように、
親神様おやがみさまの大きなお働きはたらに包つつまれて
私わたしたちは結構けっこうに生いかされているのです。

朝あさになると当たり前まえのように太陽たいようがのぼり、
朝あさの光ひかりを注そそいでくれる。

目めが覚さめて、歯はを磨みがいて、ご飯はんを食たべて、
それぞれの仕事しごとや学校がっこうに向むかう。

夕方ゆうがた、日ひが沈しずみ暗くらくなる。

お風呂ふろに入はいって布団ふとんで休やすみ、一日いちにちの疲つかれをとる。

こうして日頃ひごろ、当あたり前まえのように暮くらせるのは、
親神様おやがみさまの御守護ごしゅごを頂いただいているからです。

今日きょうも神様かみさまの御守護ごしゅごを頂いただいて生いかされていることに
感謝かんしゃしながら、一日いちにちを明あかるく暮くらしましょう。

天理教教会本部ホームページ

<https://www.tenrikyo.or.jp/>

